

建物構造等に係る児童福祉施設最低基準確認表

注意事項

○保育室又は遊戯室（以下「保育室等」）が2階に設置される場合、1階にも2階の基準が該当します。

○用語について

建基法：建築基準法

建施令：建築基準法施行令

保育室等が2階の場合

項 目		内 容
1	建物の用途	建築基準法上の用途を「保育所」とすること。
2	建物構造	耐火建築物（建基法第2条9号の2）又は準耐火建築物（建基法第2条9号の3のイ）であること。
3	階段 常用 （右の中から1以上設けること。）	1 屋内階段 2 屋外階段
	避難用 （右の中から1以上設けること。）	1 屋内避難階段（建施令第123条1項） （当該階段の構造は、建築物の1階から2階までの部分に限り、屋内と階段室とは、バルコニー又は付室を通じて連絡することとし、かつ、建施令同条第3項第3号、第4号、第10号を満たすものとする。） 2 屋内特別避難階段（建施令第123条3項） 3 待避上有効なバルコニー（次の要件を満たすこと） ● 床は準耐火構造で、十分に外気に開放している ● 2m以内の建物の外壁は準耐火構造、開口部は防火設備 ● 出入口の戸は、幅0.75m以上、高さ1.8m以上、下端床面からの高さ0.15m以下 ● 待機面積は階の保育室等面積の概ね1／8以上とし、幅は3.5m以上の道路又は空地に面している 4 屋外傾斜路（建基法による準耐火構造）又はこれに準ずる設備 5 屋外階段
	階段までの距離	常用・避難用の設備は、保育室等の各部屋から歩行距離が50m以下とすること。
4	転落防止	保育室等の出入り、通行する場所に転落事故防止設備を設けること。